

Global Spotlight 2023



世界平均では、調査対象となった組織の**90%**が、オープンソースを**中程度、重要、または広範なレベル**で使用しています。

OSSの利用



ヨーロッパでは77%、南北アメリカでは71%、アジア太平洋地域では56%の組織が、**OSS活用のコストを上回るメリット**があると信じています。

OSSの価値

組織内のオープンソースの使用と貢献の方針は**非対称的**で、より寛容な利用方針とより厳格な貢献方針に傾いています。



OSSのポリシー

回答者の合計68%が、**OSSはクローズドソースソフトウェアよりも安全**だと考えています。



OSSセキュリティ



調査対象となった組織のうち、**セキュアなソフトウェア開発に関する研修を義務付けている**のはわずか24%でした。

OSSセキュリティ



新しいOSSコンポーネントを評価する際の最重要アクションは**プロジェクトコミュニティの活動レベルをチェック**することです。

OSSの利用



OSPOや明確な戦略を持つ組織は、**コードを提供する際に厳格なアプローチ**をとる可能性が高くなります。

OSSの貢献

OSSの使用は、**生産性とソフトウェア品質の向上、ソフトウェアコストの削減**など、多くのメリットをもたらします。



OSSの価値



回答者の52%が、OSSへの貢献は**常に、または頻繁に、ソフトウェアの品質向上につながる**と答えています。

OSSの価値

個人的な利益のためであれ、集団的な利益のためであれ、人々はさまざまな理由で個人的な時間に貢献します。



OSSの貢献



貢献に関する主要な懸念事項には、**法的問題、ライセンス問題、知的財産の流出問題**などがあります。

OSSの課題



回答者が貢献を増やすために投資が必要だと感じている最も人気のある分野は、「**従業員の時間**」と「**資金援助**」です。

OSSの持続可能性